

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	教職概論 (幼・小)		
担当者(Instructors)	武 寛子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業では、教師の仕事と役割について理解を深めることを目的とする。具体的には、授業、生徒指導、部活指導、保護者対応など様々な側面から考えることを目指す。教師になるために、教員養成制度の歴史と教育基本法について理解し、教師像の変遷について考察する。教員養成制度の歴史と教育基本法を把握するとともに、教師の仕事と役割について、生徒、保護者、他の教員との関係性から理解を深める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本授業は講義形式で行う。授業内容に関する課題を毎回の授業の中盤と後半で提示し、課題に取り組むことで学生との双方向的な学習を図る。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教師になるとは	教職への思いを語り合い、学習へのモチベーションを高める。	<input type="checkbox"/>
第2回	教師と生徒の関係	教師と生徒の関係性が社会の中でどのように変化してきたのかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	教師像の変遷	あるべき「教師」像と、学校組織の中での現実的な「教員」という実態を対比的に学び、教職の実像に迫る。	<input type="checkbox"/>
第4回	教員養成の歴史	社会が求める教師像の変化に伴う、大学での教職課程の内容や教員養成をめぐる制度の変遷について知る。	<input type="checkbox"/>
第5回	教員養成制度について考える	教師が「専門職」「高度専門職」とされる必要条件について、多角的に考察する。	<input type="checkbox"/>
第6回	教育基本法について考える	教育基本法では何が重視されているのか。教育基本法の視点から学校教育を考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	教師の仕事について考える	授業力や学級経営、保護者対応などさまざまな場面を想定して考え、教師の専門性を追求する。	<input type="checkbox"/>
第8回	教師の多忙化について考える	現代の教師に求められる資質・能力とは何かを、子どもの立場、保護者の立場、地域社会の立場、そして社会の要請から考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	授業について考える	授業の実践にあたりどのような視点で編成すればいいのかを整理する。	<input type="checkbox"/>
第10回	教育の情報化について考える	教育の情報化がいかに教育に影響を与えるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	教師の技量について考える	価値観の多様化、教師の権威低下という時勢の中で、教師が指導し児童生徒がそれに従う、という関係性について改めて考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	教員研修について考える	現職研修の制度的な仕組みと、具体的な取り組み例について紹介するとともに、これからの教師に必要な資質・能力について考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	保護者との関係性について考える	教育実践にあたり、保護者との関係性を捉えなおし、整理する。	<input type="checkbox"/>
第14回	学校と外部機関との連携について考える	「連携」をキーワードに、家庭・地域との連携、多様な専門性をもつ職員との連携を通して、より高い教育効果と教員の働き方改革の両立を探る。	<input type="checkbox"/>
第15回	子どもの多様性について考える	子どもの様々な多様性について整理し、多様な教育の在り方について考察する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

毎回の授業時に提示する課題について、授業中に取り組み、授業終了時に提出する。その課題解答に関連した事後学習を行う(2時間程度)。事前学習として、次回のテーマに関するテキストの該当頁を予告し、事前に目を通す(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業でリアクション・ペーパーの記入を通じて、学生の理解度を把握する。リアクション・ペーパーの内容を、次回の授業においてフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	教員養成制度の歴史と教育基本法について理解し、教師の仕事と役割について習得するとともに、幼稚園、小学校の実情に応じて教師として必要な指導や対応について理解することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	教師の仕事と役割について理解し、生徒、保護者、他の教師との関係性を構築するために自分の考えを豊かに表現し、よりよい方法を選択する判断力を身に付けることができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	教師の仕事と役割について理解し、子どもの多様性に思慮して教育実践ができる幅広い人間力を体得している。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の課題(リアクション・ペーパー)(40%)と定期試験＝授業内試験(60%)で総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	八尾坂修編著(2020)『新時代の教職概論－学校の役割を知る 教師の仕事を知る』ジダイ社。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	小学校学習指導要領解説 総則編 一平成29年7月	
2	幼稚園教育要領解説－平成30年2月	
3		
4		
5		